

文書番号	JIM433-1
制定日	H30.4.2
改訂日	R6.4.1

令和6年度 環境目標一覧表

基本方針	共通目標項目 (全所属)	単年度目標	関連するSDGs目標	長期目標
2 循環型社会、2050年までの脱炭素社会の構築を目指した一体的な取組の推進	電気使用量の削減	17,546,866kWh以下とする	 	—
	灯油使用量の削減	313,683ℓ以下とする	 	—
	ガソリン使用量の削減	4,693ℓ以下とする	 	—
	軽油使用量の削減	70,713ℓ以下とする	 	—
	OA用紙の使用量の削減	1,102枚以下とする		—
	ごみ排出量の削減	可燃ごみ 1,169.1kg以下とする プラスチック類ごみ 389.3kg以下とする	 	—
	グリーン購入推進について、特定調達物品等における調達率95%以上の品目数の割合を向上させる。	年間89%以上とする		—

基本方針	所属目標	関連するSDGs目標	担当所属
1 安心安全な施設運営	廃棄物の不完全燃焼時に発生するCO排出濃度の29ppm (1時間平均値) 超過回数を10回以内とする	  	施設課 (クリーンパーク折居)
	廃棄物の不完全燃焼時に発生するCO排出濃度の29ppm (1時間平均値) 超過回数を13回以内とする	  	クリーン21長谷山
	事業系一般廃棄物の展開検査の実施対象車両台数を年間100台以上とする		クリーン21長谷山
	埋立に使用する覆土の使用量を埋立廃棄物の量に対して2割を上限とする	 	グリーンヒル三郷山
	排水処理施設の流量調整槽の水位が4.7mを超えないように維持管理し浸出水の外部への流出を防ぐ	 	グリーンヒル三郷山
	奥山排水処理施設において、排水中の有機物及び無機物の量を表す指標であるCOD (化学的酸素要求量、基準値20mg/L) を10mg/L以下で管理する	 	グリーンヒル三郷山
	不燃ごみに混入した小型家電の基盤を100kg以上回収する	 	リサイクルセンター長谷山
2 循環型社会、2050年までの脱炭素社会の構築を目指した一体的な取組の推進	職員の環境意識向上のための研修を年間通して適宜実施する	 	循環型社会推進課
	部長会及び所属長会議においてパソコンを持ち込んだペーパーレス会議を4回以上実施する		総務課
	年次有給休暇取得日数を平均16日以上とする	 	総務課
	備品登録台帳 (3枚複写紙) を電子化しペーパーレス化を図る	 	会計課
	インスタグラムの年間配信計画を作成し、年50回以上発信する		広報協働課
	環境イベント、工房、教室参加者及びリユース品購入者の合計を8,000人以上とする	 	広報協働課
	金融機関1社以上にインターネットバンキングを導入する		業務課
	沢中継施設における一年間の電気使用量を130,920kwh以下とする		業務課 (沢中継施設)
	担当課長会議においてオンライン会議を1回実施する	  	施設課
	2炉運転時において、焼却量1tあたりの売電量の平均値を254kWh/t以上とする	 	施設課 (クリーンパーク折居)
	分析調査における汚れプラ混入割合を令和5年度実績 (1.97%) 以下とする	 	リサイクルセンター長谷山
	ペットボトルの資源化率 (搬入量に対する資源化物搬出量の割合) を令和3年度実績 (88.38%) 以上とする		リサイクルセンター長谷山 (エコ・ポート長谷山)